

第2回「すぎなみ ちょこっトーク」を開催

12月17日（土）、第2回「すぎなみ ちょこっトーク」を開催しました。無作為抽出で選ばれた区民が「まちとのつながり・ひとのつながり」をテーマに意見交換を行いました。

区では、杉並区基本構想（10年ビジョン）の実現に向けて、総合計画・実行計画を策定し、その推進に努めてきました。今年度は実行計画の改定の年にあたり、区民の皆さんから計画についてのご意見をいただき、その意見を考慮しつつ改定作業を進め、12月に計画を公表しました。



こうした中、区は基本構想及び総合計画・実行計画の達成度や進捗状況を区民に報告し、その意見を区政に反映させることを目的に、今年度2回目の基本構想実現のための区民懇談会「すぎなみ ちょこっトーク」を開催しました。懇談会は、前回の参加者に加え、今回新たに無作為抽出された600名の区民の中から参加希望のあった方を対象に行いました。

懇談会は、前回の参加者に加え、今回新たに無作為抽出された600名の区民の中から参加希望のあった方を対象に行いました。



当日は19歳から86歳の30名（男性10名、女性20名）が参加し、ファシリテーター（司会進行役）の進行のもと、レゴブロックを活用した「レゴ®シリアスプレイ®」という手法を使って意見交換を進めました。「まちとのつながり・ひとのつながり」をテーマに、「あなたが心から望む地域のつながりとは何か」、「そのためには何が必要か」などについて、レゴブロックで作品を作って表現しながら、楽しく活発に意見交換が行われました。参加者からは、「受け身ではなく地域を良くするために力を貸したい」、「世代を超えて地域でゆるやかにつながることができる仕組みづくりが必要」、「いつもは交流のない世代とのコミュニケーションがとても楽しかった」など、様々な意見や感想が出されました。

参加者からは、「受け身ではなく地域を良くするために力を貸したい」、「世代を超えて地域でゆるやかにつながることができる仕組みづくりが必要」、「いつもは交流のない世代とのコミュニケーションがとても楽しかった」など、様々な意見や感想が出されました。

また、全体の振り返りの後、明治大学の牛山久仁彦教授から講評をいただき、「社会が変化する中、持続可能な地域づくりをするため、各地域においてゆるやかなつながりだがしっかりしたつながり、そして地域の絆づくりが必要となっている。区民もこうした場などで自分自身の問題として意見交換することが大切」とのご意見をいただきました。

今回いただいたご意見は、今後の区政運営の参考とし、引き続き基本構想の実現に向けて取り組んでいきます。